

広報



東日本大震災 *がんばろう* 常陸太田

常陸太田市民の皆さまへ.....	P3
震災の被害状況 失われた「日常」.....	P2 ~ 5
被災された皆さんを支援します.....	P6 ~ 7
インフォメーション.....	P10 ~ 11

【崩れた塀などを片付ける災害ボランティア】

平成 23 年(2011) 4 月号

No.593

失われた「日常」

「この辺りは、大きな地震が起こるはずがない
 そう思っていました。
 でもそれは間違いでした。
 3月11日に起きた「まさか」。
 経験したことのない激しい揺れに、これはただ
 ごとではないと直感しました。
 続く余震が一段落すると、想像を超えた深い傷
 跡が、市内あちこちに刻まれていました。
 しかし、悲観してばかりもいられません。
 常陸太田復興のために、前を向き、みんな力で
 を合わせて頑張っていきましょう！」



2



3



4



1

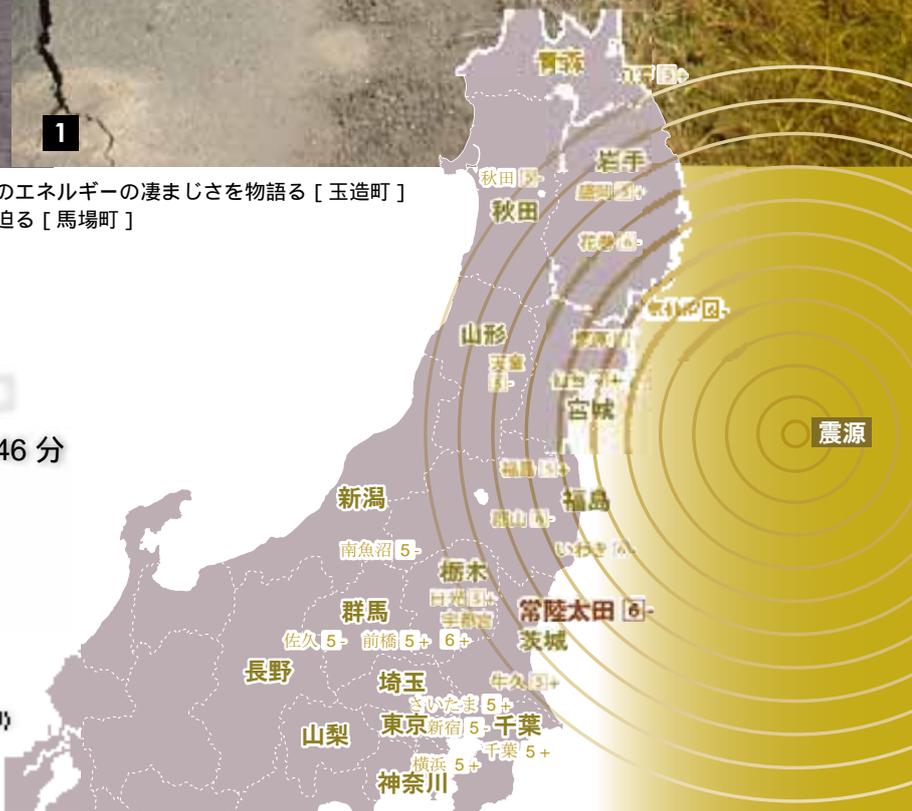
- 1 下水道のマンホールが大きく突き出す異様な光景。地震のエネルギーの凄まじさを物語る [玉造町]
- 2 停電により止まった信号。電気が通じないまま夕暮れが迫る [馬場町]
- 3 天井が崩落したサンリバーホール [交流センターふじ]
- 4 出入りも危険になった庁舎西側 [市役所本庁]

東北地方太平洋沖地震

- 発生時刻 3月11日午後2時46分
- 震源地 三陸沖
- 位置 緯度 北緯38度
経度 東経142.5度
- 震源 マグニチュード9.0
深さ約24km
- 最大震度 震度7

(気象庁HP 4月11日現在より)

*東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所事故による災害については、「東日本大震災」と呼ぶことになりました。



常陸太田市民の皆さまへ

常陸太田市長 大久保 太一



東日本大震災が発生してから1カ月半が経ちました。マグニチュード9.0の巨大地震と大津波の被害は甚大で、多くの尊い命と財産が失われたことは、このうえない悲しみであり、あらためて、亡くなられた方々に對して、心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。

本市でも、各地で大きな被害が発生し、残念ながら一人の方が犠牲となりました。また、多くの住宅等の損壊により今なお不自由な生活を余儀なくされている方々に、心からお見舞いを申し上げます。

このたびの大震災では、市内の多くの建物が倒壊や損壊等の被害を受け、上下水道等のライフラインに加え、道路や学校施設などにも、大きな被害がありました。被災者や災害復旧のために、市民の皆様や企業・関係団体をはじめ、全国各地から救

助物資や義援金、ボランティアなど、温かいご支援とご協力をいただき、心から御礼を申し上げます。

市では復興・支援に全力を尽くしておりますが、完全に復興するまでには、まだまだ時間を要する状況にあります。皆様にご不便をおかけしておりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、福島第一原子力発電所の事故につきましては、いまだに事態収束の兆しが見えず、大変ご心配されていることと存じますが、大気や水・土壌で検出された放射性物質は、ただちに健康に影響する値ではないものと考えております。風評被害対策や放射能の情報収集に鋭意努めてまいりますので、市民の皆様には、不確実な情報や風評に惑わされず、どうか冷静な対応をお願いいたします。

また、夏場の深刻な電力不足が予想されており、皆様には、

こまめな節電へのご協力をお願いいたします。

私たちは今、史上最大規模の地震に加え、大津波、そして原子力災害という、かつて経験したことのない難局を迎えております。市民の皆様が一日も早く安全で安心な生活が送れますよう、災害復旧・復興を最優先に全力をあげて取り組んでまいります。

そのため、平成23年度当初予算に計上いたしました事業のうち、複合型交流拠点施設整備事業、金砂ふるさと体験交流施設整備事業、竜神大吊橋周辺整備事業などについては先送りとし、当面のイベント等についても自粛することと致しましたので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今こそ、お互いに助け合い、力を合わせながら、ともにこの難局を乗り越えてまいります。

本市の被害状況（4月12日現在）

最大震度

震度6弱

死傷者数

死者1人 / 負傷者2人

家屋倒壊等

全壊43件 / 半壊230件 / 一部損壊446件

避難者数（3月12日午前8時現在）

2,150人

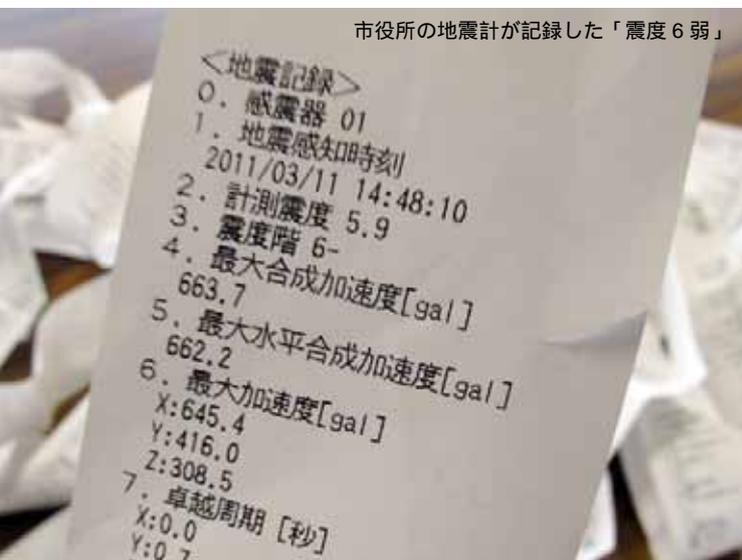
国・県道の通行止め

国道2カ所、県道3カ所

主な公共施設の状況

市役所金砂郷支所、交流センターふじが使用不能
一部の幼稚園・小学校校舎・体育館が一部使用不能
宮ノ脇保育園が使用不能 等

市役所の地震計が記録した「震度6弱」





5



7



6

5 どこが最後尾なのか分からないほど長い行列
 6 市内あちこちの堤防に亀裂が入った [田渡町]
 7 道路が陥没し、立ち往生する車 [小島町]
 8 家屋、物置、塀に受けた大きな被害は、主に
 市南部の地域に集中した
 9 きれいに並べられていた図書も地震によりほ
 とんどが棚から投げ出された [図書館]



9



8

経験したことのない不安

2011年3月11日は、私たちに
 とって忘れられない日となりました。
 同日午後、関東地方と東北地方を襲つ
 た東日本大震災は、史上最大級のマグ
 ニチュード9.0、宮城県北部で震度
 7、本市でも震度6弱を観測。広い範
 囲で未曾有の被害をもたらした。市内各
 地にも大きな打撃を与えました。

電気、水道などのライフラインもス
 トップし、暗く、寒く、断続的に続く
 余震も相まって、経験したことのない
 不安な暮らしを余儀なくされました。

建物も大きな被害

市内で全半壊した家屋は、4月12日
 現在で273件。瓦が落ちたり壁に亀
 裂が入るなどの一部損壊は440件を
 超え、調査が進むにつれて今後さらに
 増加するものと思われま。また、非
 常に多くの塀が崩れるなどの被害があ
 りました。

公共施設については、金砂郷支所は
 柱や壁に数多くの亀裂が入り、高柿町
 の交流センターふじも損壊し、両施設
 とも使用できない状態です。

学校施設では、佐都小、金砂郷小、
 郡戸小、久米小、賀美小の校舎が一
 部使用できなくなり、佐都小児童は河
 内小で授業を受けることになりました。
 幼稚園は大田進徳幼稚園、金郷幼稚園



11



10



13



12

- 10 塀が倒れたり、屋根瓦が落ちたりするなどの被害が市内の広い範囲に見られた [三才町]
- 11 給水所には、連日長い行列ができた [市役所本庁]
- 12 災害派遣の自衛隊 [市役所本庁]
- 13 市内の避難所 [大里町]
- 14 がけ崩れが発生し、通行の妨げに [松栄町]
- 15 地域の集会所にも被害が発生 [松栄町]
- 16 金砂郷支所は使用不可能に [高柿町]



16



14

15

(こどもセンターうぐいす)が一部使用不能に。宮ノ脇保育園の園舎も使用ができなくなったため、園児たちは愛保育園へ登園しています。

通行止めが続く道路

国道は4月12日現在、293号の里川橋が損傷、旧349号の幸久橋も崩落の恐れがあるため、通行止めになっています。

県道では、機初橋と栄橋付近、棚谷町地内が通行止め。市道も亀裂や崩落の危険のため、通行止めとなっている箇所が数多くあり、全面復旧にはかなりの日数を要するとみられます。

引き続き余震には注意を

大きな地震(本震)が発生すると、その周辺で最初の地震より比較的小さな地震が発生します。これが余震です。余震の数は本震の直後に多く、時間とともに減ってきますが、本震が大きいほど余震が収まるまでの期間が平均的に長くなります。

4月7日には宮城県で震度6強が、福島県では4月11・12日に立て続けに震度6弱の大きな余震が発生するなど、今後も引き続き注意が必要です。

現在、多くの方々の協力により、市は少しずつ、そして着実に復興に向かっていきます。みんなで力を合わせて頑張っていきましょう!

助成要件 新築または増築に用いる木材量の2分の1以上が地域材であり、住宅物置等の建築工事完了後速やかに入居または使用すること

助成額

住宅 床面積1㎡につき5千円(限度額30万円)
物置等 床面積1㎡につき3千円(限度額15万円)

【税・料金に関する支援】

軽自動車税の減免 問 税務課(内線211・213)

対象車両 地震等の被害を受け平成22年度中に廃車できなかった車両で、申請期限までに廃車証明書を用意できる車両

必要書類等 廃車証明書、軽自動車税納税通知書(5月13日金発送予定)、運転免許証、印鑑

申請期限 5月24日火(納期限の7日前)

*市民税、固定資産税、都市計画税等の減免については、引き続き検討を進めております。

水道料金の減免(上水道・簡易水道)

4月分の水道料金(5月支払い分)を次のとおり減免します。

内容 基本料金を全世帯一律に半額にします。4月の検針水量が前月を上回っている場合には漏水があるとみなし、前月の検針水量で料金を算出します。

問 水道総務課(内線511)/簡易水道課(85-1123)

【福祉・教育に関する支援】

国民年金保険料の免除 問 保険年金課(内線117・118)

今回の震災により、住宅、家財、その他の財産について、概ね2分の1以上の損害を受けた場合は、全額免除となります。

申請期限 7月29日金

提出書類 免除申請書、被災状況届

後期高齢者医療保険料の減免 問 保険年金課(内線117・118)

今回の震災により、住宅、家財、農作物等に著しい損害を受け、保険料を納めることが困難な場合は、減免となります。

申請 随時

提出書類 免除申請書、り災証明書(家財については被害の程度がわかる申立書)

病院等での自己負担金の支払い猶予

対象 市国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している方

内容 今回の震災で住宅の全半壊、全半焼またはこれに準ずる被災をした方が、病院等で診療を受けた場合、当面、5月までの診療分、調剤分及び訪問看護分の費用については、5月末日まで支払いが猶予されます。*被災により健康保険証を失った方も病院にかかれます。 問 保険年金課(内線112・117)

保育料の減免 問 子ども福祉課(内線146)

対象者 今回の災害で被害が著しく多額となり、保育料が支払えない状況の方

必要書類 保育料減免申請書、り災証明書

緊急小口資金貸付 問 市社会福祉協議会(73-1717)

対象 市内に住所を有する世帯および県外から茨城

県内へ避難されている方で、1カ月以上県内に居住希望する方

内容 被災者で当座の生活費を必要とする世帯への貸付金 原則として10万円(無利子)

*内容により20万円以内

据置期間 貸付から1年以内

償還期限 2年以内

【農・商・工業に関する支援】

東北地方太平洋沖地震特別対策融資

対象

市町村長等から東北地方太平洋沖地震に係るり災証明を受けた事業所等

東北地方太平洋沖地震の影響により地震発生後1カ月当たりの平均受注高もしくは平均売上が、前年同期比で5%以上減少している、または5%以上の減少が見込まれる事業所等

融資限度額 設備資金、運転資金 各8千万円ほか

必要書類等 り災証明書

申問 市商工会(72-5533)/問 商工観光課(内線621)

農業者への資金貸付

系統農業災害資金(つなぎ資金)

融資限度額 500万円

償還期間 5年以内(内据置期間1年以内)

貸付金利 無利子

問 茨城みずほ農業協同組合(72-9111) 農政課(内線611・612・614・615)

【その他】

り災証明の発行 問 市災害対策本部(内線323・341・360)

災害により住宅が被害にあった場合(塀、物置を除く)に、保険の請求や税の減免、被災者生活再建支援制度の申請、各種見舞金などを受けるために必要となるときがあります。加入している保険会社や市役所にご相談ください。*手続きにはある程度時間がかかりますので、緊急で修繕をしようとする場合は、必ず事前に被災状況の写真を撮っておいてください。

市民生活相談窓口

住宅、福祉、教育、税務など全般にわたる総合的な相談および案内を行います。

とき 午前9時~午後4時

ところ 市役所本庁1階市民相談窓口(72-3111)
/ 金砂郷支所金砂郷市民生活課[金砂郷保健センター]
(76-2116)/ 水府支所水府市民生活課(85-1119)
/ 里美支所里美市民生活課(82-2765)

住宅・家財の損害に対する雑損控除等

災害により、住宅や家財に損害を受けた場合、確定申告で雑損控除または災害減免法による減除が適用となる場合があります。

必要書類等 災害等に関連してやむを得ない支出をした金額についての領収書等

*詳しくは、後日掲載する予定の「お知らせ版」等をご覧ください。

問 税務課(内線211・213)

被災された皆さんを支援します

被害を受けた住宅等の修繕に対し、市独自の災害支援金を支給します。

常陸太田市東日本大震災被害対策支援制度 問 総務課（内線 339）

対象 本市に居住している方で、今回の震災により住宅および同一敷地内の物置等が損壊し、専門業者による修繕等の費用が20万円以上となる方 *被災者生活再建支援金に該当する場合は対象になりません。

支給額

- 住宅 修繕費用の1/3以内（限度額20万円）
- 物置等 建替えまたは修繕費用の1/3以内（限度額10万円）
- *修繕等費用が20万円未満の場合は、住宅は3万円、物置等は2万円の範囲内で見舞金を支給します。

必要書類等

- 「対象工事の見積書」または「領収書の写し」
- 「対象工事の施工箇所の写真」または「り災証明書」

申請期限 9月30日金



【住宅に関する支援】

被災者生活再建支援金 問 総務課（内線 339）

住居に被害のあった方に対し、下記のとおり支援金が支給されます。現在、り災証明書を申請している方で、この支援金に該当する方には、り災証明書とあわせて申請書を送付します。

基礎支援金

区分	支援金額		備考
	複数世帯	一人世帯	
全壊	100万円	75万円	大規模半壊の場合で、解体をしたときは、追加金が支給されます。
解体（半壊・敷地被害）	100万円	75万円	
長期避難	100万円	75万円	
大規模半壊	50万円	37.5万円	

申請期間 災害のあった日から1年1カ月の間
加算支援金

区分	支援金額		備考
	複数世帯	一人世帯	
建設・購入	200万円	150万円	賃貸住宅の場合で、建替・補修をしたときは、追加金が支給されます。
補修	100万円	75万円	
賃貸住宅（公営住宅入居者を除く）	50万円	37.5万円	

申請期間 災害のあった日から3年1カ月の間

必要書類 り災証明書、住民票、預金通帳の写し

*大規模半壊・半壊に伴い解体した場合は、滅失登記簿謄本・敷地被害に係り災証明が必要です。

災害見舞金 問 総務課（内線 339）

県・市 住宅が半壊した世帯に、県から3万円が支給されます（被災者生活再建支援金の対象とならない方）。また、震災により全治1週間以上のけがをされた方には、市から見舞金が支給される制度があります。

災害援護資金の貸付 問 総務課（内線 339）

対象 住居・家財の被害金額が概ね3分の1以上の損害があった方 / 療養の期間が、概ね1カ月以上である世帯主の負傷

内容 損害の程度に応じて、150～350万円までの

資金を貸付（所得制限あり） *償還期間は10年、据置期間は3年、据置期間中は無利子、その後年利3%
必要書類等 り災証明書、診断書、保証人
申請期限 6月30日木

生活福祉資金貸付（住宅補修等）

対象 市内に住所を有する低所得・障がい者・高齢者世帯

貸付内容 住宅の補修に必要な経費（住宅改修費）
災害を受けたことにより臨時に必要な経費（災害援護資金）*貸付限度250万円、無利子

問 市社会福祉協議会（73-1717）

災害復興住宅融資

内容 木造住宅1,400万円、耐火住宅1,460万円などの資金を貸付（詳細はお問い合わせください）

*固定金利年1.77%

問 独立行政法人住宅金融支援機構（0120-086-353）

木造住宅耐震診断士派遣 問 都市計画課（内線 240・234）

対象 市民が市内に所有する木造住宅で、昭和56年5月31日以前に着工し階数が2階以下のもの（延床面積30㎡以上）

内容 耐震診断士による診断（個人負担2千円）

受付期間 6～7月（詳細は後日お知らせします）

木造住宅耐震改修助成 問 都市計画課（内線 240・234）

対象 市民が市内に所有する昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅で、今回の震災で破損したことにより改修を行う場合（耐震診断士または建築士等の作成した設計図書等に基づく耐震改修に限る）

助成内容 耐震改修計画に要する経費の1/3（上限10万円）、耐震改修工事に要する経費の1/3（上限30万円）

受付開始 6月20日木

木造住宅等建築助成 問 農政課（内線 614・615）

対象者 市内に自らが居住する住宅を新築または増築する方 / 物置等を新築または増築する市内に居住の方



自衛隊員から給水を受ける人々。生活に欠かせない水をペットボトルやポットなどに大切に飲んでいった



市内の企業・商店からの協力を得て、避難所へおにぎりやパンなどの食料が届けられた



牛久市から駆けつけた給水車。「震災の被害に遭っているのはみんな同じ。できることは協力したい」と牛久市職員の方々は懸命に給水を続けた



埼玉県熊谷市からは子ども用のおむつや非常食が届けられた。その他、自治体の垣根を越えた温かい支援が数多く寄せられた



「大変な思いをしている人が大勢いる。少しでも手伝えることがあれば」と、企業による給水所も開設された

それは人と人とのつながり。

本市に寄せられた
たくさんの方々の支援の手

市内全域で発生した断水。市内各所に給水所を開設した際には、常陸太田市ライフライン給水ボランティアが参加して、冷たい風が吹きすさぶ中、朝から夕方まで水を配りました。また、自衛隊や牛久市の給水車が応援に駆けつけ、大切な水を手にした住民の方はみな安心した表情を浮かべていました。

「常陸太田市に近づくにつれ大変な状況だと分かった。頑張っただけじゃない」と力強い励ましの言葉とともに、古河市や埼玉県熊谷市からは子ども用おむつが届けられました。守谷市や群馬県藤岡市からは粉ミルクが到着。また、日本郵便や日本青年会議所をはじめとする各種団体、その他、市内外の多くの企業からも非常食や水、トイレレットペーパーなどの支援物資が続々と届きました。

ライフラインなどの窮地に、多くの差し伸べられた支援の手により、まちが支えられました。



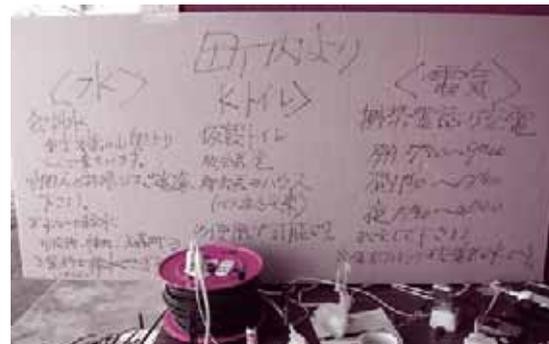
地震により室内に散乱した物を片付ける災害ボランティア。延べ500人近い方々がボランティア活動に汗を流した



「自分たちも、できることがあれば手伝いたい」と、避難所で食事配りなどを行う災害ボランティアの方々



避難者や損害の状況について話し合う真弓ヶ丘団地自主防災会。棚谷町や東染町の自主防災会なども炊き出しを行うなど地域でまとりを見せた



中内田町では田園都市センターに地域住民が避難して、炊き出しや給水などを行った。同様に、市内では迅速な避難活動を行った町会などが数多くあり、地域住民同士で助け合っていくことで、災害時の不安な状況乗り越えていくことができた



水、食料、日常生活への不安

被災したまちを支えたもの、

市内各地で広がった
助け合いの輪

災害直後、地域集会所などに自主的に避難し、食べ物や飲み物を持ち寄って、不安な時間をお互いに励ましあっているという動きが各地で見られました。ご近所同士で助け合うという、本市の町会や自主防災組織などの地域コミュニティの強さを再確認できました。

「人って温かいなと実感しました。涙が出るほど嬉しいですよ」そう笑顔で話してくれたのは、災害ボランティアに地震で散らかった室内の片付けをお願いした三才町の上野さん。災害発生後に募集した常陸太田市災害ボランティアは293人、20団体が登録（4月12日現在）し、屋内の片付けや話し相手、避難所の食料配布、崩れた塀の片付けなどを行いました。

「ありがとう」

「頑張りましょーっ！」
震災の中、そんな温かい言葉を、まちのあちこちで聞くことができました。

災害義援金の受付

常陸太田市では、東日本大震災により被災された市民に対する義援金を受け付けております。お寄せいただいた義援金は、地震による被災市民の支援に活用させていただきます。

ご持参いただく場合

常陸太田市役所出納室の窓口にお持ちください。
*受領書はその場で発行いたします。

お振込みいただく場合

お手数でも、お名前、ご住所、ご連絡先、義援金の額、受領書発行のご希望、氏名・金額公表の了承について、次のいずれかの方法で出納室へご連絡いただき、お振込みください。

電話

0294 72 3111

(内線124・125・129)

ファクシミリ

0294 80 4755

Eメール suio1@city.hiachota.lg.jp

郵便 〒313 8611

常陸太田市金井町3690

常陸太田市役所出納室

*申込書は市ホームページからダウンロードできます。

【振込先】

金融機関 常陽銀行(金融)

機関コード0130)

支店名 太田支店(店番

コード013)

口座番号 普通預金

1595761

口座名義 常陸太田市災害

義援金

*常陽銀行本店および各支店の窓口からのお振込みについては、手数料が無料となりますが、ATM、他銀行からのお振込みは有料となりますのでご注意ください。
*受領書の発行を希望される方には、後日、郵送にて受領書を送付いたします。

問出納室(内線124・125

・129)

【受領書について】受領書は、寄付金控除等を受けるために使用することができます。また、銀行振込により送金いただいた場合に控えとしてお手元に残る振込金受取書(受領書)の原本も、同じように使用することができます。

放射線の影響

東日本大震災により起きた福島第一原子力発電所の事故。市民の皆さんも大変な心配をされている、放射線の影響についてお知らせします。なお、最新の情報については、市および県のホームページでご確認ください。

農作物・原乳

4月12日現在、茨城県産の農産物等については、暫定規制値を下回っており、ホウレンソウ、カキナ、パセリを除き、安全性が確認されています。
なお、原乳については出荷制限が解除されました。また、ホウレンソウについても、測定結果により近く出荷制限が解除される見込みです。

水道水

4月12日現在、市の水道水は、現在のところすべて安全です。1歳未満の乳児を含めてすべての方に飲んでいただいても問題ありません。

茨城県内で観測された最大値
(3/16 北茨城市)

0.015

市内の放射線
テレメータ値
(4/12 午前9時現在)

磯部町 0.000139 ミリシーベルト
真弓町 0.000098 ミリシーベルト
久米町 0.000080 ミリシーベルト

放射線の量 (ミリシーベルト)

原発作業員などの年間被ばく限度
50 (年間)

全身CTスキャン(1回)
6.9

日本の1人あたりの自然界からの放射線
1.48 (年間・全国平均)

宇宙から 大地から 食物から 空気中のラドンから
0.39 0.48 0.29 1.26

胃のX線集団検診(1回)
0.6

東京〜ニューヨーク航空機旅行(往復・高度による宇宙線の増加)
0.2

胸のX線集団検診(1回)
0.05

原子力発電所(軽水炉)周辺の年間線量目標値
※実績ではこの目標値を大幅に下回っています。

再処理工場の操業による工場周辺の線量目標値
0.022 (年間)

日本の原子力発電から放出される放射性物質から受ける放射線の量は年間0.001ミリシーベルト未満です。

参考
ベクレル(Bq)：放射性物質が放射線を出す能力(放射性物質の量)を表す単位
シーベルト(Sv)：人の体が放射線を受けた時の影響を表す単位
(ミリシーベルトはシーベルトの千分の一)

節電にご協力ください

今回の震災については、私たち市民も多大な被害を受けておりますが、その中であっても私たち一人ひとりがすぐに支援・協力できることはたくさんあります。その一つが「節電」です。

今回の地震により、電力需給のバランスが極めて厳しい状況にあります。家庭や事業所で市民一人ひとりが最大限の節電の努力をすることが、安定した電力の供給と今後の復興につながります。皆さんの節電へのご理解、ご協力をお願いいたします。



イベントの開催・中止等

「がんばっぺ里美2011春」を開催します。

とき 5月3日火午前9時～午後3時
 ところ 里美ふれあい館イベント広場
 内容 特産物即売会、ステージイベントなど

問がんばんっぺ里美実行委員会事務局
 (090 3914 5337 白石)

中止となったイベント

4月23日～5月15日に開催を予定していた「第23回竜神峡鯉のぼりまつり」

* 竜神大吊橋は通常どおり渡橋できます。水府物産センターやそばハウス龍亭は通常通り営業しています。

5月29日に開催を予定していた「第48回粟原釣り場釣り大会」

延期となったイベント

4月10日に開催を予定していた「OSJ奥久慈トレイル50K」

* コース状況を確認中のため、開催の有無についてはOSJ奥久慈トレイルレース実行委員会(0467 84 8639 / Hd http://www.powersports.co.jp/ositrail/11_okukuji/index.htm)にご確認ください。

* 観光施設、直売所、温泉施設などは、プラトリーさとみを除き通常どおり営業しています。

平成22年 国勢調査結果 速報値

皆様のご協力をいただきました国勢調査の結果がまとまりましたので、お知らせします。

人口と世帯数、1世帯当たりの人員

区 分		平成22年	平成17年	比 較	
				増減数	増減率
人 口 (人)	常陸太田市	56,255	59,802	3,547	5.9%
	茨城県	2,968,865	2,975,167	6,302	0.2%
世帯数 (世帯)	常陸太田市	19,797	19,809	12	0.1%
	茨城県	1,088,848	1,032,476	56,372	5.5%
1世帯あたり 人員(人)	常陸太田市	2.84	3.02	0.18	6.0%
	茨城県	2.73	2.88	0.15	5.2%

「ふるさと常陸太田」への ご支援ありがとうございます

ふるさと納税により、寄付をいただいた方です。寄付金は大切にに使わせていただきます。

平成23年2月受入分
 澤幡仁様(東京都江戸川区)10万円「歴史・文化を活かしたまちづくり」

* 義援金として寄付をいただいた方々については、後日、広報紙でご紹介させていただきます。

市民みんなで全員参加 今年も健康スポーツチャレンジデーを開催

市では「誰もが健康で暮らせるまち」を目指し、「健康スポーツチャレンジデー」を実施します。「常陸太田市民全員の参加を目指すため、個人・家族・グループ・職場・学校などでそれぞれ取り組み、楽しんで身体を動かしましょう！」

と き 5月25日水 午前0時～午後9時

と ころ 常陸太田市内どこでも(自宅・職場・学校・運動施設・公園など)

15分間以上、運動で身体を動かしましょう!



鯨ヶ丘商店会の各店舗で3月3日か
ら催された「鯨ヶ丘ひなまつり」は、
開催中に地震にみまわれました。地震直
後には商店会、町会、鯨ヶ丘倶楽部、太
田ワクワク会が炊き出しや生活用水の確
保などでお年寄りを支援。がれきを撤去
して落ち着いた後、「震災で暗い話題ばか
りなので、少しでも元気になってもらえ
るように」と、ひな祭り続けることを
決断し、まちに明るい話題を提供しました。



常陸太田大使であるヴァイオリニス
トの竜馬は、大里ふれあいセンター
や生涯学習センターなどの避難所でヴァ
イオリンのコンサートを開催しました。
竜馬は「今、自分は常陸太田市に何が
できるかずっと悩んでいた。曲を聴いて元
気になってもらいたい」と、「故郷」やオ
リジナル曲など披露し、避難所での生活
を送る方々を楽しませました。



災害ボランティアとして活動する鈴木貴大くん（写真中央）

セラピストの鈴木ひろみさん（西宮
町）は、生涯学習センターの避難
者にマッサージをサービスしました。「自
分の家も震災の被害を受けました。避難
所生活では体がつらいでしょうから」と
真剣な眼差しで話す鈴木さん。少しでも
避難所生活でたまった疲労をとってあげ
ようと、5日間で延べ約50人もの避難
者の体を丁寧にマッサージし続けました。



上 深萩町の地域資源として案内板も
設置した「細田の湧水」には、震
災で水道が止まった際、大勢の人々が水
をくみに訪れました。「水の大切さを改め
て実感した」「地域の資源が人々の役に立
てて嬉しい」などの声が聞かれた細田の
湧水は、災害時に人々を救った水として、
これからも地域の方々に大切にされてい
くことでしょう。

いつもものまちへ。 一歩ずつ前へ。

表紙に
よせて

災害で壊れたブロック塀などの後片付けをする、災害ボランティアの皆さんです。ボラ
ンティアには中・高校生から年配の方まで幅広い世代が参加しています。

今年から高校に進学する鈴木貴大くん（埴町）は、「テレビで災害の様子を見ていて、自
分も何か手伝いたい」と思いボランティアに登録。野球部で鍛えた体で重いブロック塀
を軽々と運んでいきました。困っている人たちの役に立ちたい、そんなボランティア
の皆さんの思いが、本市の温かい人の輪をつくっていきます。